

0AFL051 基礎ゼミI

1.0 単位, 1 年次, 春B 土6,7
保高 睦美

授業概要

初学者を念頭に、民法について、今後の学習方法の方向性を把握してもらうことを目指す。比較的短い事例問題を題材に用いる。特に、法的議論の進め方の特徴を概括的にでも理解すること、基本書や判例を読む際の注意点、使用方法に留意する。以上により、法学学習の最初期に学習の骨格部分を固め、以降の学習に臨む態勢を整える。

備考

法曹専攻の学生のみ履修可
対面(オンライン併用型)
担当教員は森田教授ではなく、保高先生が担当いたします。

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

民法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を理解すること。民法の基本的な仕組み、発想に慣れること。

キーワード

事例問題の答案作成、物権変動、意思表示の瑕疵、代理

授業計画

民法 I、民法 IV-1 で扱う重要事項を受講者と共に事例問題の答案を作成しながら概説する。起案に慣れることを目的として、第 4 回、第 8 回には、各自で事例問題の答案作成をする時間をとるので、作成した答案を提出すること。翌週に当該事例問題について解説し、答案の講評をする。なお、個別の答案添削はしない。

- 第1回 ガイダンス、答案作成上の留意点
- 第2回 錯誤に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説
- 第3回 9 4 条 2 項に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説
- 第4回 9 4 条 2 項の類推適用に関する事例問題の答案作成
- 第5回 第4回での事例問題の解説、答案の講評
- 第6回 表見代理に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説
- 第7回 1 7 7 条の「第三書」に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説
- 第8回 背信的悪意者に関する事例問題の答案作成

第9回 第8回での事例問題の解説、答案の講評
第10回 その他の重要事項について概説、答案作成の留意点

履修条件

配当年次による

成績評価方法

答案作成100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

◎参考書

佐久間毅『民法の基礎I 総則（第5版）』（有斐閣・2020年）

佐久間毅『民法の基礎II 物権（第3版）』（有斐閣・2023年）

オフィスアワー等（連絡先含む）

授業後に対応する

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）

0AFL053 基礎ゼミII

1.0 単位, 1 年次, 春C 土4,5

福田 純一, 山岸 久晃

授業概要

初学者を念頭に、憲法、刑法について、法的な考え方、法的な表現を把握してもらうことを目指す。

各科目における重要な解釈論を含む事例問題を題材に用いる。基本書や判例を読む際の注意点、使用方法に留意する。以上により、以降の学習に臨む体制を整える。

備考

法曹専攻の学生のみ履修可
対面(オンライン併用型)

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

憲法、刑法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を概括的にでも理解すること。基本書や判例を読む際の使用法を理解すること。同時に、憲法、刑法の基本的な仕組み、発想になれること。

さらに、憲法と刑法との比較。どのような共通する考え方があり、どのような違いがあるかについて概括的に理解すること。

キーワード

違憲審査基準・三段階審査 構成要件・違法・有責

授業計画

各科目における重要な解釈論を含む事例問題を用いる。具体的事案に一般的抽象的な法規範を解釈、適用して事案の解決を導く、という法的議論の進め方を受講者と一緒に行う。

憲法

第 1 回前半 経済的自由に関する諸問題概説（含、憲法の構造、起案方法）

第 2 回前半 表現の自由に関する諸問題解説（含、違憲審査基準）

第 3 回前半 幸福追求権（包括的基本権）、平等権、その他に関する諸問題概説

第 4 回前半 レポート課題解説

第 4 回後半 生存権、政教分離その他に関する諸問題概説

刑法

- 第 1 回後半 単独正犯に関する諸問題概説①
- 第 2 回後半 共同正犯に関する諸問題概説①
- 第 3 回後半 共同正犯に関する諸問題概説②
- 第 5 回前半 レポート課題解説
- 第 5 回後半 刑法各論に関する諸問題概説

履修条件

配当年次による

成績評価方法

レポート憲法刑法各50%、合計100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

講師は授業を行うに際して、下記の書籍を含む複数の書籍を参考とする予定であるが、学生は、既に使用している教材があれば、これを使用して構わない。

憲法

1. 芦部信喜、高橋和之「憲法」[第八版]
2. 渡辺康行、穴戸常寿、松本和彦、工藤達朗「憲法 I 基本権」[第2版]
3. 木下智史、伊藤建、「基本憲法 I 基本的人権」
4. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選 I」[第七版]
5. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選 II」[第七版]

刑法

1. 井田良「講義刑法学・総論」[第2版]
2. 大谷實「刑法講義総論」[新版第5版]

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)